

福祉サービス第三者評価結果の公表ガイドライン

①第三者評価機関情報

評価機関名：	社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会
訪問調査実施期間：	平成26年 9月17日（水）

②事業者情報

名称：	社会福祉法人 米子福祉会 車尾保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	理事長 岸岡 和男	定員（利用人数）：	90名（108名）
所在地：	鳥取県米子市車尾南1丁目13-13 TEL 0859-32-2454		

③総 評

◇特に評価の高い点

<p>1 地域との連携の充実 理念・基本理念に「地域の子育て支援の拠点として、社会的役割を担う」が明示され、公民館行事への参加や地元小中高生との交流を積極的に行っておられます。 園だよりで「子育てのポイント」等を発信しておられます。事業計画に「地域との連携、子育て支援」を盛り込み、子育てサークルに園庭を開放したり、読み聞かせ、水遊び等の保育の提供を通じて保育所機能の地域還元を行っておられます。</p> <p>2 よりよい保育実践への取り組み 保育のサービスの実践等について、職員による自己評価が行われています。自己評価は職員の振り返りの場として位置付けられ、園長は評価シートの評価・分析を行い、職員との面談を通じてサービスの改善に結びつけるとともに、働きやすい職場づくりに努めておられます。 職員は、自己評価による振り返り等を通して、より良い保育実践をめざし意欲的に取り組んでおられます。</p>
--

◇改善を求められる点

<p>1 中・長期計画の単年度計画への反映 法人として平成26年度からの「中長期経営計画書」が新たに策定されましたが、園の単年度事業計画に内容が反映したものとなっていません。連動性のある計画が策定されることを期待します。</p> <p>2 職員の資質向上に向けた取り組みについて 人材の能力開発・育成の視点で、客観的な基準に基づいた人事考課を実施するとともに、人材育成計画に基づく個別職員の研修計画の実施が望まれます。</p>

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審することで、課題を職員間で共有することができました。本部と綿密な連携が必要な点や、単園で取り組まなければいけない点が明確になりました。今後、不備な人材育成を踏まえた人事考課や研修計画、また、単園ごとの中・長期計画の取り組みを行い、より良い運営や保育サービスの向上に努めていきたい。
--

福祉サービス第三者評価結果

※すべての評価項目（53項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a・b・c	①法人理念は平成18年法人の全保育所園長会で検討し、「笑顔に出会える保育園 保護者と地域とともに」として明文化しておられます。 ②法人理念に基づく法人基本方針は、家庭や地域社会との連携、子どもの健康と安全な生活のための環境整備、地域の子育て支援の拠点としての社会的役割、専門職としての4つの責務を柱とし定めておられます。理念・基本方針は、廊下に掲示されるとともに、入園のしおり、パンフレット、ホームページ、事業計画などに記載しておられます。
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a・b・c	
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a・b・c	①職員周知は、年度当初の全体職員会議で資料配布しわかりやすく説明しておられます。全職員に規程、マニュアル等とともに理念、方針を文書化したものをファイルし、配布しておられます。
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・b・c	②入園時には入所説明会で入園のしおりを用いて保護者に説明されるとともに、入園後は保護者会総会や園便りで周知を図っておられます。公民館にパンフレットを置き、地域の方々へも周知しておられます。

Ⅰ-2 事業計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a・b・c	①法人として「中長期経営計画書」を作成し、中長期経営計画を踏まえた法人としての収支計画を作成しておられますが、園の良さや課題を明らかにしたものになっていません。ビジョンを実現するための具体的な計画が策定されることを期待します。
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・c	②園として単年度の事業計画を作成しておられますが、中・長期計画に園の年度の計画が盛り込まれていないため、内容を反映したものになっていません。
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a・b・c	①事業計画は、前年度に職員会議で話し合わせ、職員の意見を反映させながら組織的に策定しておられます。また、当該年度には保護者に行事アンケートが行われ、職員会議の中でその意見も踏まえながら話し合わせ、確認・見直しを行っておられます。
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a・b・c	②事業計画は、年度当初の全体職員会議で全職員に配布して周知が図られるとともに、年2回行われる自己評価の項目に設定されているなど継続的な取り組みが行われています。
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a・b・c	③年度当初の保護者総会で、保護者に事業計画の内容を説明されています。また園だより等で行事計画と併せて報告されています。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

評価項目	第三者評価結果	コメント
I-3-1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-1-1) 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a • b • c	①園長の役割と責任は、年度初めの職員会議で、組織図、業務分担表を用い職員に対し説明しておられます。併せて、災害時においても同様に園長の役割を明文化しておられます。
I-3-1-2) 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a • b • c	②園長は、遵守すべき法令などのリスト化を行い、事務室に備え置き、職員へ周知しておられます。法令遵守や人権に関する研修・会議に参加し、職員会議で周知しておられます。
I-3-2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-2-1) 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a • b • c	①保育のサービスの実践等について、職員による自己評価が行われています。自己評価は職員の振り返りの場と位置付けられ、園長は評価シートの評価・分析を行い、職員との面談を通じてサービスの改善に結びつけておられます。
I-3-2-2) 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a • b • c	②園長は、法人本部と連携しながら人員配置、職員の働きやすい環境整備など改善に取り組んでおられます。事業計画に保育目標に沿った具体的な取り組みを明示し、実現に向けて職員に周知しておられます。

評価対象II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-1-1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
II-1-1-1) 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a • b • c	①法人として保育制度等の状況は全国社会福祉施設経営者協議会や全国保育協議会などから、地域の状況は公民館、市のHPなどから情報を収集しておられます。地域の実情を踏まえて延長保育、障害児保育、広域入所を実施していただけるほか、平成29年度には乳児保育に取り組む計画を立てておられます。把握された情報やデータを踏まえた具体的な事業計画となることを期待します。
II-1-1-2) 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a • b • c	②法人本部と連携のもと、経費比率等の分析が行われています。経営状況の分析に基づき改善すべき具体的な課題の発見や事業計画への反映が組織的に行われることを期待します。
II-1-1-3) 外部監査が実施されている。	a • b • c	③平成26年度中途に外部監査を実施する予定にしておられますが、今回の調査では、実施が未だ確認できませんでした。

II-2 人材の確保・養成

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-2-1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-1-1) 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a • b • c	①法人本部としてのプランはあります。園としても、法人本部と連携して必要な人材や人員体制に関するプランが確立されることを期待します。
II-2-1-2) 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a • b • c	②人事考課シートがありますが、保育実践上の項目評価に止まっています。人材の能力開発・育成・公正な職員処遇、職員意欲を喚起するなど、客観的な基準に基づいた人事考課の取り組みを期待します。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a • (b) • c	①担当職員が、職員の意向をもとに勤務表を作成、有給休暇取得状況などを定期的に確認しておられます。園長、園長保佐は職員への声かけを行い、就業状況の把握に努めておられます。現状を分析し、改善につながる仕組みづくりを期待します。
II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	(a) • b • c	②米子市勤労者福祉サービスセンターに加入し、職員の福利厚生事業を実施しておられます。また、親睦会・食事会等を開催し職員間のコミュニケーションを図る機会とされています。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a • (b) • c	①基本方針や事業計画に研修への基本姿勢は明示されていますが、具体的な育成方針の立案が望まれます。
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a • b • (c)	②職員の意向に沿って年間研修計画を策定し、研修への参加を推奨しておられますが、個別の研修計画となっておりません。職員一人ひとりの人材育成目標、実施、評価などが示された研修体系が策定されることを期待します。
II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a • b • (c)	③研修後は、研修報告を提出して職員会で報告等が行われていますが、個別の研修計画の評価・見直しとはなっていません。
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	(a) • b • c	実習生受け入れマニュアルを策定しておられます。マニュアルをもとに、担当職員を配置して、オリエンテーション、実習、反省会のプロセスを実施しておられます。

II-3 安全管理

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	(a) • b • c	①感染症対応マニュアル、事故防止マニュアルがあります。マニュアルは各クラスに掲示しており、職員会議で周知を図っておられます。
II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	(a) • b • c	②災害時対応マニュアルがあり、消防署と連携し毎月訓練を行っておられます。備蓄品として食料、水、非常用袋が各クラスに設置されているほか、近隣の中学校と連携し避難場所として確保しておられます。また、災害時の職員の役割分担を明確にし、職員には周知徹底しておられます。
II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	(a) • b • c	③事故防止マニュアルが整備されています。ヒヤリハット報告書を用い、ヒヤリハット事象の報告が行われています。ヒヤリハット事象は職員会議で事故防止策を話し合い、改善に繋げる仕組みがあります。遊具・施設の安全点検は、担当職員を決めて、毎日点検を行っておられます。

II-4 地域との交流と連携

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-4-1(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-1(1)-① 利用者との関係が大切になっている。	a b c	①理念・基本理念に「地域の子育て支援の拠点として、社会的役割を担う」が明示されています。公民館行事への参加や地元小中高生との交流を積極的に行っておられます。
II-4-1(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a b c	②園だよりで「子育てのポイント」等を発信しておられます。事業計画に「地域との連携、子育て支援」を盛り込み、子育てサークルに園庭を開放したり、読み聞かせ、水遊び等の保育所機能の地域還元を行っておられます。また、子育て中の人達からの相談を受ける取り組みも行われています。
II-4-1(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a b c	③ボランティア受け入れマニュアルがあります。担当者を決め、受け入れの対応をしておられます。また、地元中高校の保育体験の受け入れも行っておられます。
II-4-1(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-1(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a b c	①行政・医療機関・警察・児童相談所・民生委員・児童委員・小学校・消防など関係機関の情報をリスト化し、事務室に設置しておられます。
II-4-1(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a b c	②特別支援が必要な子どもの育ちに関して、地元小学校、皆生総合療育センターと連携を図っておられます。園長が公民館、自治会、民生児童委員等で組織する「車いす子どもを守る会」のメンバーとなり、子育てに悩んでいる人を掘り起こし、虐待等を含めた問題の解決に向けた活動に参加しておられます。定期的な話し合い等具体的な取り組みに期待します。
II-4-1(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-1(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	a b c	①民生委員・児童委員、公民館、自治会等との交流で子育て支援ニーズの把握をしておられます。子育て支援センター等の子育て支援関連機関との連携を図り、更なる地域の子育てニーズを把握する取組を期待します。
II-4-1(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a b c	②ニーズに基づき、延長保育、広域入所等の事業が実施されており、事業計画に記載されていますが、中・長期計画に基づくものになっていません。

評価対象III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

評価項目	第三者評価結果	コメント
III-1-1(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
III-1-1(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取り組みを行っている。	a b c	①人権同和保育全体計画、年齢別年間計画を策定し、これに基づく保育実践が行われています。保育目標に「差別に気づく感性豊かな子ども」を掲げ、事業計画の中で目標を定めておられます。また、絵本の読み聞かせの中で思いやりを育む保育も展開しておられます。人権に関する研修会への参加、報告書回覧、職員会で共通理解を図っておられます。
III-1-1(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a b c	②プライバシー保護マニュアルを策定し、職員に配布しておられます。職員会の中で、周知徹底が図られています。
III-1-1(2) 利用者満足向上に努めている。		
III-1-1(2)-① 利用者満足向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a b c	行事内容や保育内容について年2回アンケートを実施しておられます。アンケート結果や意見は保護者に公表しておられます。

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	(a) b・c	①意見箱の設置、連絡ノートなど日々の保護者とのかかわりの中で信頼関係を構築し、相談しやすい環境に努めておられます。事業計画には、「苦情への対応策」の記載があり、相談や意見に対する保育園の姿勢を明示しておられます。
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	(a) b・c	②法人の苦情解決要綱規程に基づき、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し、玄関に名前・連絡先を掲示しておられます。苦情内容、解決結果はホームページ等で公表され、保護者にフィードバックしておられます。
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	(a) b・c	③苦情対応マニュアルを整備し、苦情には迅速に対応しておられます。申し出者とは、園長を中心に面談が行われ、苦情内容は職員会議で職員間で検討、対応しておられます。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	(a) b・c	①サービス内容について年3回定期的に全職員が自己評価を行う体制を整備しておられます。第三者評価の受審に本年度初めて取り組まれました。
Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行している。	a (b) c	②自己評価は各項目ごとに集計し、達成度をまとめておられます。達成度の低い項目を中心に改善に向けた取り組みを職員会議では話し合っておられますが、改善策や改善実施計画を立案、実施するまでには至っていません。
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a) b・c	①保育マニュアルが策定され、理念や基本方針、保育課程に基づき、年間指導計画（年齢ごと）、月指導計画、週日記録を作成され、サービスが提供されています。保育マニュアルは、全職員に配布されるとともに、各クラスに掲示しておられます。
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a (b) c	②見直しは年度末の職員会議で必要に応じて行われていますが、全職員参画のもとで定期的に見直しされることを期待します。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a) b・c	①入園児の児童調査票、児童票、経過記録、月週日記録等の個別記録を作成しておられます。法人で記録要領を作成し、副園長が指導担当として職員間で書き方に差異が生じないように確認・指導しておられます。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	(a) b・c	②記録については法人の個人情報保護規程に基づき適切に管理しておられます。書類管理の担当者を置き、管理場所、保存、廃棄、開示などに関する規定を定められておられます。
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a) b・c	③月1回、全職員が参加する合同職員会議を開催し、子どもの状況等を職員間で情報を共有しておられます。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a • b • c	①ホームページで情報を提供し、保育理念や保育内容を掲載し情報提供をしております。公民館にパンフレットを設置し、見学者には入園のしおりを用いて説明をされております。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a • b • c	②米子市は利用者と米子市が契約する仕組みとなっています。サービス開始時に「入園のしおり」で保護者へ保育内容等について説明しております。
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a • b • c	①転園に際しては、必要に応じて情報提供がされていますが、継続性に配慮して引継ぎ手順等の作成が望まれます。卒園に際しては、小学校と連携、児童要録を渡しております。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a • b • c	入園前に児童調査票により身体状況や生活状況を把握しております。調査票の内容は児童票に記載され、定期的に見直しております。見直し時期や手順を定めたアセスメント手順書を作成されることを期待します。
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a • b • c	①年間指導計画（年齢ごと）は保育課程に基づき作成されており、3歳未満児は個別指導計画、3歳以上児は、月・週単位の指導計画を作成しております。年間・月間指導計画と週日記録は関連性を持たせ、園長を責任者とし、職員との合議で作成しております。
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a • b • c	②計画の評価・見直しは月1回定期的に担当が行い、園長、園長保佐が確認しております。担任で集まりケース会議を開催し、複数で関わりながらの評価・見直しが行われることを期待します。

福祉サービス第三者評価結果 (付加基準－保育所版－)

※すべての評価項目（24項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

A-1 保育所保育の基本

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(a)・b・c	①保育課程は保育目標に基づき、子どもの生活や発達を踏まえて編成されており、定期的（年度末）に見直しを行っておられます。また、基本的な生活習慣や食事の取り方などの変化を捉え編成されています。 ③日々の生活の中で自分の気持ちを伝えられるよう、子どもたちから言葉を引き出す関わり方に心がけておられます。主体的に遊ぶ意欲が持てるよう、おもちゃに工夫したり、心地よく安心して過ごせる環境づくりをしておられます。子どもの育ちや状況を送迎時や連絡ノートなどで伝えておられます。 ④一人一人の育ちに応じて、基本的生活習慣の定着を図られています。毎日の挨拶を大切に、習慣づける取り組みをしておられます。集団の中で安定して過ごし、自己を発揮していける保育環境を整えられています。協力して遊べるようなコーナー作りをし、集団の中で自分の力を発揮しながら友だちと協力する喜びを感じられるよう取り組まれています。 ⑤隣接する公園散歩やマラソンなどを実施し、自然とのふれあいや体力づくりに取り組んでおられます。小学校への体験入学、プール見学、音楽集会への参加など就学前の準備期間としての取り組みをしておられます。保護者に対しては、個人懇談会や座談会を通して、就学相談を実施しておられます。また、保育所保育児童要録を作成とともに、子どもや保護者が就学に向けて期待と見通しを持てるよう配慮しておられます。
A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	
A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(a)・b・c	
A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(a)・b・c	
A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。	(a)・b・c	
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	(a)・b・c	①手順書をもとに採光・換気・保温・保湿・清掃・消毒による清潔で明るい環境づくりに取り組まれ、室内外とも安全チェックをされており、危険防止にも取り組んでおられます。保育士は、子どもとの信頼関係を深め、安心して過ごしたり活動できる環境づくりを意識し、保育に取り組んでおられます。 ②基本的な生活習慣を身につけるため、子どもの育ちに合わせ、主体的に行うことを導く保育を心がけておられます。習慣的に朝食をとることや、早寝早起きを促したり、健康的な生活づくりに向けた体操やマラソンを行うなどの働きかけを行っておられます。また、戸外遊び、運動遊びなど十分に楽しめる遊具や用具を工夫し整備しておられます。 ③部屋にコーナーを設置し、子どもが好きな遊びを選べ、一人一人が安心して遊べる空間づくりをしておられます。また、給食等の当番活動や異年齢交流などを通して、主体的協同的活動への働きかけを行っておられます。 ④近くの公園や、周りの田畑などの豊かな自然の中を散歩しながら、季節を感じたり、自然に触れ親しめるよう取り組んでおられます。日頃からの地域の自然環境を活かした活動を多く持つ機会を作られています。 ⑤日常の保育の中に絵本や紙芝居の読み聞かせを取り入れ、言葉に触れる機会を作っておられます。また、リズムックやダンスワークを通じ踊ったり歌ったり、のびのびと表現活動が楽しめるよう配慮しておられます。
A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	(a)・b・c	
A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	(a)・b・c	
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかわれるような人的・物的環境が整備されている。	(a)・b・c	
A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(a)・b・c	

A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	(a) b・c	年3回自己評価を行い、自身の保育のふり返りと反省の場としておられます。評価結果は、職員会議等で話し合わせ改善に繋げる仕組みがあります。

A-2 子どもの生活と発達

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	(a) b・c	①子どもの家庭環境や生活リズムは把握され、記録されています。子どものあるがままの姿を受け止め、抱えている課題について職員間で職員会議等の場で共通理解のもと保育を行っておられます。
A-2-(1)-②障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a (b) c	②障がいのある子どもに対しては、その特性に応じた保育ができるよう発達状況・発達課題について専門機関と連携のもと、職員間で情報の共有をしておられます。また、保護者には毎日の登降園時や連絡ノート、個人懇談をとおして園での様子を詳しく伝え、家庭での様子を聞きながら相互理解を図っておられますが、設備面での環境が未整備です。
A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	(a) b・c	③延長保育は異年齢の子ども同士でゆったりと遊べる環境づくりを行っておられます。また、職員間の引き継ぎも適切に行っておられます。
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	(a) b・c	①入園時、児童調査票の記録と聞きとり等から、既往症等の把握に努められておられます。健康管理マニュアルに基づき保健計画やを作成し、日々の健康状態は視診簿を利用して職員間の共通理解を図っておられます。体調の変化・けがなどがあった場合は保護者に迅速に伝えておられます。
A-2-(2)-②食事を楽しむことができる工夫をしている。	(a) b・c	②一人一人の食欲や好き嫌いなどを把握し、発達や体調に応じた調理方法等に工夫が見られます。食育の日を設け、食べ物や食事マナーに関心を持って食べられるよう調理員との関わりをられています。園でとれた野菜を給食に加えるなど、食事のスタイルにも工夫をしておられます。
A-2-(2)-③乳幼児にふさわしい食事が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(a) b・c	③給食会議で子どもの発達や嗜好傾向に合わせて、食べやすい切り方、味付け、盛りつけの工夫をしておられます。月に1回食育指導を行い、調理員も食事の様子を見たり、指導を行う機会を設けておられます。
A-2-(2)-④健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(a) b・c	④内科検診、歯科検診、耳鼻科検診の結果を保護者に伝え、必要に応じて早期受診を勧められておられます。健診結果は記録に残しておられます。歯磨き状況を把握し、園医により個別指導をしておられます。
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	(a) b・c	①アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対しては、入園時に保護者から聞き取り、児童調査票に記録しておられます。主治医の指示書を保護者とともに確認し、アレルギーチェック表の提出を受け、除去食を提供しておられます。アレルギー児対応マニュアルを作成し職員周知を徹底しておられます。
A-2-(3)-②調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(a) b・c	②消毒マニュアル・感染症マニュアルを基に管理され、調理場や水回りの消毒は毎日行い、調理施設点検票及び給食消毒チェック票にチェックしておられます。食中毒、感染症に関しては、職員会で全職員に周知徹底を図っておられます。

A-3 保護者に対する支援

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○ a b・c	①毎月の献立表を「おたより」で配布し、毎日の給食サンプルを送迎通路に展示しておられます。年1回給食参加・試食会が行われ、要望によりレシピを提供し、家庭でも作ってもらえるよう働きかけをしておられます。
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	○ a b・c	②送迎時の際の対話や連絡ノートのやりとりなどで保護者との情報交換を努めておられます。内容によっては個人面談を行い、児童票・個人保育計画に記録するなど必要な記録を残しておられます。
A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	○ a b・c	③日常の会話、個人懇談、保育参観などで、保護者と子どもの成長や育児について共通理解を得るための機会を設けておられます。
A-3-(1)-④虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	○ a b・c	④虐待対応マニュアルの整備し、職員間での共有し、早期発見及び予防に努めてをしておられます。不適切な養育が疑われる場合には、関係機関と連携して対応する体制を整えておられます。